

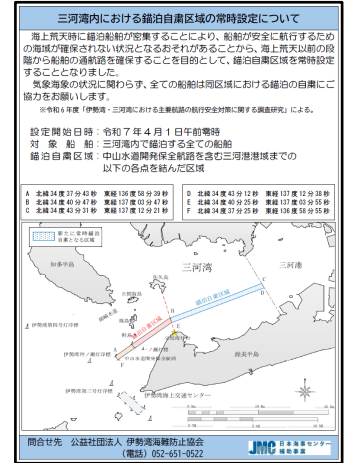
# 令和6年度補助事業の概要 〈公益社団法人 伊勢湾海難防止協会〉

## 1 調査研究事業

「伊勢湾・三河湾における主要航路の航行安全対策に関する調査研究」

伊勢湾北部の中部国際空港島西側海域における大規模土砂処分場整備事業に伴う広範囲な工事区域の設定により、名古屋港入出港船舶の通航帯と大型危険物船錨地との位置関係が狭隘になる等、伊勢湾北部海域における航行環境の変化が及ぼす影響について、船舶の航行安全確保の見地から調査検討を行った。

また、三河湾においては、台風来襲時に多数の避泊船舶で混雑し、三河港への入出港船舶の安全な航行を阻害する恐れがあることから、中山水道開発保全航路東側出入り口から三河港豊橋航路西側出入り口までの幅700mの海域を錨泊自粛区域に設定することについて調査検討を行った。リーフレットは、会報、協会HP等により海域利用者に広く周知する。



【三河湾における錨泊自粛区域リーフレット】

## 2 周知宣伝事業

### (1) 海難防止活動

海難防止強調運動推進東海地方連絡会議を主催し、霧海難ゼロキャンペーン（4/20～7/31）、海の事故ゼロキャンペーン（7/16～7/31）を推進した。

海の事故ゼロキャンペーン活動では、①ポスターの掲示、②ラジオでの広報活動、③広報誌への掲載、④集客施設での広報活動、⑤海上安全教室、⑥海難防止講習会、⑦イベントでの啓発活動、⑧安全パトロールに大別され、各団体・機関が各地区で展開した。



【霧海難ゼロキャンペーンポスター】



【東海地方連絡会議の開催状況】



【事故ゼロキャンペーンポスター】

### (2) 会報の発行

当協会の事業活動（調査研究事業・海難防止活動等）を会員等に広く周知し、海上交通の安全確保に寄与することを目的として、年2回、会報「伊勢海報」を発行している。令和6年度は4月に141号、10月に142号を発行した。

